



# まち活通信

～みんなで実践するまちづくり活動情報～ ②1

2016年4月 女川町まちづくり推進協議会事務局

## 平成27年度住民主体のまちづくり活動支援事業の振り返り

平成26年度にスタートしたまち活では、「まちカフェ」などの場づくりや、活動を実践する「まちの先生」の紹介を通じて、町民のみなさんの参加の入口を広げてきました。

平成27年度は、新たな活動の始動につながる実践的な講座、新たな活動の舞台となる清水公園や観光交流エリアの計画にみなさんの声を反映させる「公園づくりワークショップ」などを実施しました。

### ● 取り組み① 全国的に活躍している「まちおこしのプロ」を招き、講演会を実施。

- ① 豊重哲郎氏 「住民自治による地域再生」  
～「やねだん」に学ぶまちづくり～
- ② 藤浩志氏 「アートと地域の関係」  
～地域コミュニティにおける場づくり～

### ▶ まち活で得られた成果

- ・自分が本気になり、人を本気にさせることが大切。
- ・子どもたちの力は大きい。
- ・「誰と」「何を」するかが大切。
- ・「女川にも、アートをテーマに集える部室を作りたい」。

(参加者アンケート等のコメント)



参加者各々が貴重な気づきを習得

### ● 取り組み② 新たな担い手づくりを目指して、「コミュニティ再生」「女性の社会参加」「地域の魅力の発見」等を目的に3つの実践コースを実施。

- ① ガーデニング講座&ワークショップ・実践  
個人向けガーデニング講座と、大原北区をモデル地区としたコミュニティガーデンづくりを実践。
- ② 楽しいリメイク・ソーイング講座  
洋服や着物のリメイクをテーマに、子育て世代の女性が一緒にオリジナル作品づくりに挑戦。
- ③ 「女川の昔話の続きを考えてみよう！」講座  
女川の昔話を題材に、新しい物語を発想し、かたち(紙芝居)にする取り組みを小・中学生たちが挑戦。

- ・大原北区の活動を、まち全体に広げることが可能な成功モデルを構築。
- ・達成感と気づきを元にした社会参加(コミュニティビジネス)の芽生え。
- ・子どもたち(未来の担い手候補)が創作活動を通じて「地域の魅力を再発見し愛着を深める」機会の創出。



まちづくりへの関わり方を発見

### ● 取り組み③ LINEの仕組みをトライアル的に導入

- ・若年層への情報発信。
- ・バーチャル参加の場づくり。

町民の想いを  
計画に反映

復興まちづくりへの住民参加

担い手として参画

### ● 「公園づくりワークショップ」(計4回)でみなさんからいただいた意見・アイデア(一部を抜粋)

- 清水公園・今からできる取り組み
  - ・自然体験、体験農園など世代間で交流できる空間を。
  - ・住民の手で苗木からの森づくりを始めよう。
  - ・屋外体験を通じて子どもたちの意見を聞いてほしい。
  - ・利用する主体がいるエリアから段階的に整備すべき。

- メモリアル広場・観光交流エリア
  - ・震災遺構周辺に震災から復興までのプロセスを展示。
  - ・震災の教訓、女川の底力、支援への感謝を伝えたい。
  - ・季節ごとのイベントで利用しやすい設計が必要。
  - ・海辺でくつろげる空間を(カフェ、読書スペース等)。

これらの活動を通じ、次の担い手の発掘やチャレンジ意識の醸成につながりました。昨年度は、多くの方のご参加、ご協力を得て進めることができました。今年度はみなさんの提案を持続可能な住民活動に発展させるためのチーム作りを本格化していきます！

## まち活実践コース

# 「ガーデニング講座」を開催しました！

第1回：3月1日 講師 田崎満さん(日本花の会研究員)

第2回：3月15日 講師 堂賀光枝さん(セボラ)

町民みなさんと行政が協働して、美しいまちなみづくりを進めるきっかけとして開催した「ガーデニング講座」の第1回は、町の花である「桜」の寄せ植えに必要な技術を学びました。

まずは、講師の田崎さんから桜に関する“奥深い”話や、ガーデニングの心得をお聞きし、その後、実際に参加者それぞれがプランターへ桜の苗木を植えました。参加者の中には、高台移転して建築する住まいの庭づくりを検討中の方もいて、田崎さんの話を熱心に聞いていました。田崎さんからは「ガーデニングは、経験を重ねることで自信が付き、ほかの方に自慢したくなりますよ」とアドバイスをいただきました。

第2回は、講師の堂賀さんから、桜のガーデニングにちなんだ桜餅の作り方を教わりました。ちょっと工夫するだけで、桜を使った「わが家のオリジナルお菓子」が作れることを発見。「家族全員で作って楽しめそう」という声も上がり、少し早目のお花見気分でお庭談義に花を咲かせました。

次回(第3回)は、第1回で鉢植えした桜を持ち寄り、病虫害対策や施肥など、今後の育て方を学びます。このような活動を町中に広げ、みなさんの手で自慢したくなるまちなみをつくっていきましょう！



## 女川デイキャンプ 参加者募集！

空中テントと切り株トーチを使って、清水公園の新しい遊び方を体験してみよう！

平成27年度開催の「公園づくりワークショップ」番外編として、今後整備される公園でやってみよう日帰りキャンプ・焚火・川遊びなどを体験する野外ワークショップを開催します。

森の案内人に野外活動のスキルや火の扱い方を教わりながら、子どもたちの生きる力や防災能力も身につく内容です。沢のせせらぎを聞きながら飲むコーヒーやハーブティーは格別。冒険心を持った大人の参加も大歓迎です。

みんなで女川の新しい楽しみ方を見つけよう！



- 日 時 4月16日(土)午前10時～午後3時ごろ
- 集合場所 女川駅前バス停付近(現地まで車で送迎します)
- 持ち物 軍手、タオル、飲み物、好きな遊び道具、お米1合(おかずの持参も歓迎！)
- 対象者 子どもから大人まで先着10組(未就学児は保護者同伴でご参加ください)
- 参加費 1人500円、または1家族1000円(食材費、備品代、保険加入費として)
- 申込方法 4月14日(木)午後5時までに下記へお申し込みください。

※歩きやすい靴でご参加ください(沢遊びしたい方は濡れてもよい靴を持参ください)。

※小雨決行(荒天による中止時は前日までに連絡します)。

協力団体：女川ネイチャーガイド協会、桜守りの会、女川スラックライン

◆申込み・問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)

☎54-3131内線291 メールアドレス：fukko7@town.onagawa.miyagi.jp

◆まち活フェイスブック  で検索

◆まち活LINE@ LINEアプリの友達追加画面で  をID検索